

令和 5 年度

教育委員会事務の点検及び評価報告書

(令和 4 年度対象)

令和 5 年 9 月

日高川町教育委員会

はじめに

本町では、「豊かな心を育む教育・文化のまちづくりに向けた教育の推進」を基本理念とし、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育の推進に努めています。

また、町民一人ひとりが安心して心豊かに生活できる元気で明るいまちをめざし、スポーツ・文化活動等をとおして生涯学習の推進に努めているところです。

本報告書は、課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、令和4年度に実施した事務事業について行った点検評価の結果をまとめたものです。

今後とも、教育行政の充実、推進に努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年9月

日高川町教育委員会

目 次

点検・評価について	1
点検評価結果	5
学校教育の充実	6
社会教育の充実	9
事務事業評価調書	13
点検・評価を行う事務事業（学校教育関係）	14
1. 教育委員会の運営	15
2. 外国青年招致事業	16
3. 特別支援教育の充実	17
4. 小中学校施設整備事業	18
5. 小中学校学習活動支援事業	19
6. 就学援助事業	20
7. 学校給食事業	21
8. 情報教育推進事業	22
点検・評価を行う事務事業（社会教育関係）	23
1. 社会教育推進事業	24
2. 青少年育成事業	25
3. 公民館運営事業	26
4. 人権教育推進事業	27
5. 文化財保護事業	28
6. スポーツ推進事業	29

I 点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき PDCA のマネジメントサイクルを確立すべく、平成20年度以降教育委員会が行った事務事業の点検評価（以下「評価等」という。）を実施し、教育委員会評価委員会の意見を受け、報告書としてまとめました。

1. 評価の対象

今回実施した評価の対象は、本町教育委員会が主体となって実施した事業のうち主なもので、学校教育関係8事業、社会教育関係6事業の合計14事業です。

番号	事務事業の名称	
	学校教育関係	社会教育関係
1	教育委員会の運営	社会教育推進事業
2	外国青年招致事業	青少年育成事業
3	特別支援教育の充実	公民館運営事業
4	小中学校施設等整備事業	人権教育推進事業
5	小中学校学習活動支援事業	文化財保護事業
6	就学援助事業	スポーツ推進事業
7	学校給食事業	
8	情報教育推進事業	

2. 評価等の方法

- (1) 各事務事業における評価項目を「必要性」、「効率性」、「有効性」及び「公平性・透明性」とし、それぞれについての分析並びに評価をし、課題や今後の対応等について検証を行いました。
- (2) 評価は4段階評価とし、それぞれの評価項目について下記のとおりとしました。

評価項目	4	3	2	1
必要性	必要性は高い	必要性はある	必要性は少ない	必要性はない
効率性	効率性は高い	効率的である	効率性は低い	効率的でない
有効性	効果は大きい	効果はある	効果はあまりない	効果はない
公平性 透明性	十分確保されている	確保されている	欠ける部分がある	確保できていない

(3) 「今後の方向性」については、「廃止・終了」、「休止」、「継続」、「拡大」及び「見直し」の5つの方向性で表しました。

(4) 評価等の際し、評価等の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会で様々なご助言をいただきました。

なお、教育委員会評価委員会の委員は次の方々です。(50音順、敬省略)

氏名	所属等
伊賀 佳美	学識経験者
今北 有加	学識経験者
原 延子	学識経験者
玉置 智一	学識経験者
鳥居 稔	学識経験者

3. 評価等の結果

教育委員会の自己評価の結果は、次のとおりです。

(1) 評価の判定別事務事業数

評価	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
事業数	2	11	1	

(2) 今後の方向性別事務事業数

方 向	廃止・終了	休 止	継 続	拡 大	見直し
事業数			13		1

4. まとめ

今回の自己評価により明らかとなってきたそれぞれの事業の課題をもとに、事務事業の目的、必要性等を踏まえ、計画的な事業展開と、より効果的な手法の模索など常に問題意識を持って取組んでいくことが重要であると考えます。

教育委員会としましては、依然として厳しい財政状況の中、児童生徒ニーズへの対応と教育課題の解消に向け、事務事業の優先度や緊急度等を勘案し、引き続き計画的、重点的な事業実施に努めなければならないと考えます。

点検評価結果

点検評価結果

Ⅰ. 学校教育の充実

【基本方針】

確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育活動の推進に努めます。

また、学校施設の整備充実を図ることにより、子どもたちの学ぶ環境の充実に努めます。

【令和4年度の主な取組状況と判定及び今後の方向性】

1. 教育委員会の運営

○取組状況

町教育行政についての審議を行い、具体的施策の推進・充実を図りました。

町長との総合教育会議において、教育施策の検討を行いました。

○判定及び今後の方向性

「十分できている」ため「継続」する。

2. 外国青年招致事業

○取組状況

令和3年度よりALT3名を配置し、中学校では英語授業で指導の補助を行い、小学校では外国語への関心を高めるコミュニケーション能力の向上に努めました。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

3. 特別支援教育の充実

○取組状況

特別な支援を要する障害のある児童生徒や、増加傾向にある心の悩みを抱える児童生徒に対応するため、支援員の配置やスクールカウンセラーの配置など、特別支援教育の充実を図りました。

※スクールカウンセラーの配置年間訪問日数 210日、相談者数 1,670人、

相談件数1,254件

○判定及び今後の方向性

「十分できている」ため「継続」する。

4. 小中学校施設等整備事業

○取組状況

多くの学校が築40年を経過しており、老朽化が進んでいるため、緊急債や必要性を考慮しながら計画的に施設整備を進めていく。今後は、学校の統廃合を進めていくため、効率的な整備計画を策定していく必要がある。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

5. 小中学校学習活動支援事業

○取組状況

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ前の状態に戻りつつある。

課外活動は、子どもたちが実際に見て、触れて、感じて、考えて行動する機会となるので、今後も学校が積極的に取り組めるよう努める。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

6. 就学援助事業

○取組状況

経済的な理由により就学が困難であると認められる児童生徒の保護者に対して、学用品等の支給など必要な援助を行いました。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

7. 学校給食事業

○取組状況

コロナ禍やウクライナ情勢の影響により、物価高騰が続く中、4年度に、江川小・山野小・中津小・丹生中の4校が給食費の値上げを実施した。このような状況を踏まえ、今後は食材費の支出と給食費の集金を教育委員会で一括して行い、どの学校においても同じ給食を安定して提供できるようにしていく。

○判定及び今後の方向性

「できている」とし、今後は学校の負担軽減と給食を安定供給できるよう、給食費の公会計化を進めるため、今後の方向性は「見直し」としました。

8. 情報教育推進事業

○取組状況

「GIGAスクール構想」により整備した一人1台の端末を有効活用し、今後は新しい教育環境の整備とICT教育に対応するため、教職員の更なるスキル向上と支援体制の強化に努めていく。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため、「継続」する。

以上、当該8事務事業については、教育環境の整備充実を図るため、これからも重要な施策であり、効率的かつ効果的な事務事業の実施に努めます。

【外部評価委員の意見】

2. 特別支援教育の充実

- ・特別支援教育は、スクールカウンセラーの配置等、今後も充実してほしい。

4. 小中学校施設等整備事業

- ・学校施設整備の決算額が減少している。統合するから改修しないのではなく、必要な改修は実施してほしい。

7. 学校給食事業

- ・学校統合を進めていく中で、学校給食についても無償化を検討してはどうか。
- ・学校統合で美山中が令和7年度から廃校になるが、美山地区の調理場についてはどうするのか。

8. 情報教育推進事業

- ・情報教育で、来年度統合に向けて週3回テレビ会議をしている。他校との交流ができ児童も喜んでいるので、来年度は中学校の統合に向けてこのシステムを活用できないか検討されたい。

点検評価結果

II. 社会教育の充実

【基本方針】

あらゆる人が、あらゆる機会に、あらゆる場所において、町民の幅広い学習ニーズに応えるため、地域の特性を生かした総合的な学習環境の整備に努めます。

【令和4年度の主な取組状況と判定及び今後の方向性】

1. 社会教育推進事業

○取組状況

- ・生涯学習の場として、日高川町中央公民館（日高川交流センター）、川辺公民館、美山公民館としての適正な施設管理に努めた。
- ・社会教育委員会議において、社会教育計画の立案について、審議してもらえた。町民への学習機会の提供や生涯学習推進についての意見収集に努めた。
- ・子ども未来塾を開講（登録率57.9%）し、地域の教育力を活用した子どもたちの居場所づくりに努めた。
- ・町成人式については、今年から18歳から成人扱いとなったが、当町は18歳対象とせず、従来どおり20歳になる方を対象として実施することにしたため、今年度から「二十歳のつどい」と名称を変更して開催した。
- ・町文化表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ実施した。
- ・全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入し、各校の学校運営協議会で地域、学校、保護者が共通の目標をもって学校運営ができるよう努めた。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

2. 青少年育成事業

○取組状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策で、「イルカとYOU・遊」「雪国体験」が中止となったが、昨年中止となった「わが町探訪」「ぶちサバイバルキャンプ」については、感染予防対策をとり、内容も変更し実施できた。
- ・子どもたちの安全な生活を図るため「地域声かけあいさつ運動」「夏の子どもを守る運動」は実施。
- ・新型コロナウイルス感染症対策で、令和2・3年度と中止した「夜間巡回パトロール」は令和4年度から再開した。

○判定及び今後の方向性

「あまりできていない」 事業は今後も「継続」する。

3. 公民館運営事業

○取組状況

- ・毎月「公民館だより」を全戸に配布した。
- ・令和4年度も「移動図書館」を実施し、また「日高川町子ども読書活動推進計画」に基づき、読書の好きな子どもたちの育成に学校と連携し進めていく。
- ・令和4年度は公民館運営事業も少しずつであるがコロナ禍前のように実施できた。
- ・文化協会の活動を支援するため、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ作品展を開催する等発表の場づくりに努めた。

○判定及び今後の方向

「できている」ため「継続」する。

4. 人権教育推進事業

○取組状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策により中止していた人権教育講演会を3年ぶりに開催した。
- ・昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催は5校だったが、町内小学校9校全校の保護者会において、保護者を対象とした人権に関する学習会を開催した。
- ・町内小・中学生を対象とした人権作文集「ともだち」を発刊し、児童・生徒に配布、人権意識の高揚に努めた。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

5. 文化財保護事業

○取組状況

- ・美山歴史民俗資料館、中津郷土文化保存伝習館の資料館としての適正な施設管理に努めた。
- ・町指定文化財埋蔵地の保存、整備に努めた。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

6. スポーツ推進事業

○取組状況

- ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、工夫しながらスポーツ大会等できるだけ開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度初めて中止した市町村対抗ジュニア駅伝大会も令和4年度は開催された。
- ・町体育協会、町スポーツ少年団の活動に助成する等、スポーツの推進に努めた。
- ・町スポーツ表彰式を開催した。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

以上、当該6事務事業については、社会教育環境の整備充実を図るため、これからも重要な施策であり、効率的かつ効果的な事務事業の実施に努めます。

【外部評価委員の意見】

1. 社会教育推進事業

- ・コミュニティスクールについて、マイスターを派遣して充実を図られたい。

2. 青少年育成事業

- ・青少年育成活動では、今後も普段家庭では経験できない体験を充実してほしい。
- ・コロナ禍でジュニアリーダーが活躍できる事業が中止になり、活動する機会が減少したことも会員減少の要因の1つであるので、今後はジュニアリーダーが活躍できる事業を工夫して実施し、会員増加につながるような活動を考えていく必要がある。

3. 公民館運営事業

- ・公民館事業で、「ぬいぐるみお泊まり会」や「図書室の動物さがし」等の事業の様子を SNS で発信しているのはよいことだ。
- ・ハーバリウムや風鈴作り等のワークショップも SNS でもっと発信すればよいと思う。
- ・公民館事業へ参加者が増加すれば、図書室の利用も増えるのではないか。

事務事業評価調書

点検・評価を行う事務事業（学校教育関係）

＜教育委員会＞

	事務事業名	事務事業の内容
1	教育委員会の運営	定例会・臨時会・学校訪問・研修会等への参加
2	外国青年招致事業	A L Tによる英語授業及び国際理解
3	特別支援教育の充実	特別支援児童生徒に対する教育支援
4	小中学校施設等整備事業	小中学校の施設維持管理等
5	小中学校学習活動支援事業	校外学習、中学校部活動、児童・生徒派遣、児童・生徒引率等教職員旅費に対する補助
6	就学援助事業	就学援助要綱に基づく要保護者・準要保護者に対する援助及び特別支援児童生徒の保護者に対する補助
7	学校給食事業	健全な食生活実現のための支援
8	情報教育推進事業	I C T機器による情報教育の推進

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		教育委員会の運営				担当	教育課
目的		教育行政について審議を行い、町教育行政の具体的な施策の推進、充実を図る。					
事務事業の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会及び臨時会の開催、学校訪問の実施、研修会への参加。 ・町長との総合教育会議との連携を図り、教育施策について検討を行う。 					
根拠法令等		地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、日高川町教育委員会会議規則					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	1,280	1,312	1,333	委員報酬等	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	定例会	回	7	7	8	定例会は通常どおり定期的に開催した。研修会は、通常どおり開催された。	
	臨時会	回	1	2	1		
	研修会	回	0	0	3		
総合教育会議	回	1	2	1			
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等				
			地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、日高川町教育委員会会議規則で、教育委員会の設置の義務及び教育委員会が行うべき事務等について規定されている。				
2	効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等				
			日高川町教育委員会会議規則に則り運営されており、事務は効率的に実施されている。				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等				
			施策や運営方針等の決定を行うという現在の会議の目的は、妥当であり、目的の実現に寄与している。				
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等				
			会議は、原則公開で実施しており、傍聴することができる。				
総合評価	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	教育行政における迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るため、総合教育会議で共有を図っていく。教育現場や教育環境の現状を的確に把握して教育委員会運営に努めていく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調査書

事務事業名		外国青年招致事業				担当	教育課
目的		国際社会で主体的に生きることができる資質や能力、英語の実践的コミュニケーション能力の育成					
事務事業の内容		外国人英語指導助手(ALT)を小中学校へ配置し、英語教育・国際理解を推進する。					
根拠法令等		特になし					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	5,606	15,239	15,642		
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	招致人数	人	1	3	3	3人体制で、小学校・中学校とも年間36回ずつ訪問した。	
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			<p style="text-align: center;">評価に対する説明等</p> <p>正しい英語発音を学びコミュニケーションを行うことは英語学習の意欲を高めることにもつながり、国際社会で生きていくための英語力養成に大きく寄与する。</p>				
2	効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			<p style="text-align: center;">評価に対する説明等</p> <p>令和3年度から民間企業と委託契約を交わし、3人のALTを派遣している。14校を効率的に指導に回るとともに、事務の効率化も図れている。</p>				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			<p style="text-align: center;">評価に対する説明等</p> <p>ALTとの授業を通じて、児童生徒は外国文化への関心を深めたり英語でのコミュニケーション能力を向上させる等、国際理解及び英語教育に効果を発揮している。</p>				
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			<p style="text-align: center;">評価に対する説明等</p> <p>3人体制で町立学校13校と組合立学校1校の各学校に1週間に1回配置し、英語教育の充実が図られている。</p>				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	<p>令和2年度から小学校に英語科が導入され、児童生徒の英語学習の充実のためにALTの果たす役割はますます大きくなってきている。令和3年度からALTが3人体制になり、学校への訪問回数が増え充実している。今後も学校と連携を取りながら指導内容も含め英語学習の充実を図っていく。</p>					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		特別支援教育の充実				担当	教育課
目的		特別支援児童生徒に対する教育支援					
事務事業の内容		学習支援員やスクールカウンセラーを配置し、特別支援教育を充実する。					
根拠法令等		いじめ防止対策推進法第22条関係					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	18,992	19,502	21,597	令和4年度実績 スクールカウンセラー年間訪問日数210日、 相談件数1254件、相談者数1670人	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	学習支援員	人	10	10	13	(既に特別支援学級が認められている学校) ＜川辺西小＞2学級 ＜和佐小＞2学級 ＜江川小＞2学級 ＜三百瀬小＞1学級 ＜中津小＞2学級 ＜川原河小＞1学級 ＜笠松小＞1学級 ＜丹生中＞1学級 ＜早蘇中＞1学級	
		千円	17,652	18,187	20,247		
	スクールカウンセラー	人	1	1	1		
	千円	1,340	1,315	1,350			
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
		<p>評価に対する説明等</p> <p>特別な配慮を必要とする児童生徒やその保護者に対し教育相談体制の要として活躍している。本町では特別支援学級へ入級する児童生徒が増加傾向にあり、それらへ対応するためにはスクールカウンセラーの専門的な知識、学習支援員の人的支援は必要である。また、スクールカウンセラー、学校、教育委員会の連携がスムーズに進めることから考えても、本事業は教育委員会にて実施すべきであると考え。</p>					
2	効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
		<p>評価に対する説明等</p> <p>年度当初に年間の訪問日を定め、勤務している。しかし、不登校やいじめ、心の悩みなどの問題は、対応が急を要する場合もあるため、訪問日の調整や訪問校の変更等を行い対応している。また、町の教育相談を担当しているカウンセラー(町単)が引き続き、スクールカウンセラーとして活動しているため、幼児及び児童へ適切な支援を実現できている。なお、複数人が入級している特別支援学級へ学習支援員を配置することで、個々に応じた教育支援を行うことができている。</p>					
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
		<p>評価に対する説明等</p> <p>スクールカウンセラーは児童生徒・保護者だけでなく教員が抱えている心の悩みなども含めて教育相談も行っており、学校と保護者の架け橋とし児童生徒の成長につながるよう双方へ助言等を行っている。また、特別な支援を必要とする児童生徒に対して、教育委員会、学習支援員、県費のSSWと連携し、ケース会議等で多角的な視点で意見交流や議論等を行っており、非常に有用に活用されている。</p>					
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
		<p>評価に対する説明等</p> <p>特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、学習支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置により、充実した支援が確保されている。</p>					
総合評価	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	<p>特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、町単の教育指導員・学習支援員・介助員・スクールカウンセラーを配置する等、全ての子どもたちが個々に応じた教育が受けられるよう、今までの方針を堅持し、その充実に努めていく。</p>					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調査

事務事業名		小中学校施設等整備事業				担当	教育課
目的		校舎等の整備を行うことにより、教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。					
事務事業の内容		老朽化等により不具合の生じた施設の改修等					
根拠法令等		義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	197,825	145,521	63,381	中津小体育館屋根改修、和佐小特別教室空調設置、和佐小トイレ改修、中津小トイレ改修、丹生中グラウンド改修	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	修繕件数等	件	66	66	49	老朽化等により必要な箇所を修繕。小学校の遊具について老朽化はもちろん安全基準を満たしていないものを順次修繕している	
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等 施設を適正に維持・管理し、児童生徒が安全で快適な学校生活を送っていくために必要な事業である。				
2	効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等 施設の劣化は一律ではないため、その都度必要性を判断している。				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等 既存施設を維持管理をしていく事業であり、緊急度や必要性を考慮しながら実施されており、有効であると考え。				
4	公平性 透明性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等 学校施設の設置は地方公共団体の役割であり、町が経費を負担しているが、施設の老朽化等で十分な予算が確保されていない。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	多くの学校が築40年を経過しており、老朽化してきているため、学校の意見も聞きながら緊急性や必要性を考慮しながら、施設の整備修繕を積極的に進めていく。今後は学校の統廃合を進めていくため、効率的な整備を実施する。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		小中学校学習活動支援事業				担当	教育課
目的		学校の特色を生かした学習活動の充実と保護者の経済的負担の軽減を図るため。					
事務事業の内容		各学校が行う学習活動事業に対し必要な経費の一部を助成する。					
根拠法令等		特になし					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	2,667	3,366	4,351	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。				
			・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。				
		評価に対する説明等					
		効果的な課外活動(体験学習)の充実を図るために維持継続が必要。					
2	効率性	4	・ 事務は効率的に実施されているか。				
			・ コスト削減の工夫がなされているか。				
		評価に対する説明等					
		効率的に実施しているため、コスト削減の必要なし。					
3	有効性	4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。				
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。				
		評価に対する説明等					
		授業以外の課外活動(体験学習)から児童生徒が学ぶことは多く、有効である。					
4	公平性 透明性	4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。				
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。				
		評価に対する説明等					
		基本的には、各学校の事業計画を精査した予算配分となっているため十分確保できている。					
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	新型コロナウイルス感染が5類に移行し、コロナ前の状態に戻りつつある。校外活動や部活動で町バスを利用する機会が多いが、今年度から1台廃車となり、2台での運行になったことに加え、運行委託業者も変更になる可能性が高く、今までのように利用できるのか、また今後の活動や予算に影響がでないか懸念するところである。 課外活動は、子どもたちが実際に見て、触れて、感じて、考えて行動する機会となるので、今後も学校が積極的に取り組めるよう努める。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		就学援助事業				担当	教育課
目的		経済的理由等による就学困難、又は特別支援学級等の保護者の経済的負担の軽減。					
事務事業の内容		経済的理由等による就学困難、又は特別支援学級等の児童生徒の保護者への諸経費の援助。					
根拠法令等		学校教育法、就学援助要綱					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	6,550	6,179	5,847	R2就学援助(6,118千円)、特支(432千円) R3就学援助(5,604千円)、特支(575千円) R4就学援助(5,072千円)、特支(575千円)	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	就学援助児童生徒	人	80	74	70	援助費目は、学用品費、給食費、修学旅行費等である。援助額は、就学援助で全額、特別支援学級で半額支給。	
特別支援教育就学援助	人	13	18	16			
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等 国・近隣市町の動向も参考に認定基準や支給項目・額の決定に取り組んでいる。				
2	効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等 各学校との連携を密にし、効率的に事務を実施されている。				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等 保護者の経済的負担の軽減において、効果的な手法である。				
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等 広報紙等への掲載、入学通知書発送時に個別案内を同封するなど制度等の周知徹底を図っている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	各学校との連携を密にするだけでなく、他市町村の認定基準や支給額等の動向把握に努めながら、引き続き教育の充実が図れるよう就学援助に努めていく。また、児童生徒に何らかの異動等があった場合、すみやかに保護者に説明を実施する等、申請漏れが生じないように努めていく。支給項目についても国の動向をみながら検討していく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		学校給食事業				担当	教育課
目的		子どもたちの健全な食生活を実現することで、豊かな人間形成を図る					
事務事業の内容		子どもたちの健全な食生活を実現及び18才までの子どもを3人以上養育する保護者を支援するため学校給食費を助成する					
根拠法令等		学校給食法					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	3,584	3,601	3,330	令和4年度各学校の給食費保護者負担額(1食あたり) 川辺西小・和佐小・三浦小・中津小・川原河小・笠松小・寒川第一小(250円) 江川小・山野小(270円) 早蘇中・中津中(290円) 丹生中・美山中(300円)	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	給食費用総額	千円	37,314	37,962	36,655	令和4年度第3子以降子育てサポート助成対象者件数 (小学校64件 2,861千円)・(中学校9件459千円)	
	年間総配食日数	日	141,423	140,342	139,697		
第3子以降子育てサポート	千円	3,584	3,601	3,330			
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するもので、教育活動の中での果たす役割が大きく、今後もより安全で安心な学校給食を進めていく必要がある。				
2	効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等 老朽化した調理場の改善や複数調理員による調理場を目指し、町内4ヶ所で給食共同調理(親子方式)をスタートしており、全ての調理場で複数調理員を配置できている。				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに食育にもきわめて大きく、今後も安全で安心な学校給食を提供していくことによる効果は大きい。				
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等 各保護者より給食費を徴収し、PTA総会においても決算報告を行い公平性、透明性は十分確保されている。また、第3子以降サポート事業についても学校と情報共有できている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	コロナ渦やウクライナ情勢の影響により、物価高騰が続く中、食材費(支出)と給食費(収入)のバランスが取りづらく、今年度は江川小・山野小・丹生中・中津小の4校がやむなく給食費を値上げした。他の調理場においても果物やデザートを提供を控えるなどメニューを工夫しながら実施しているが、値上げを検討する段階にきている。 このような状況を踏まえ、今後は食材費の支出と給食費の集金を教育委員会で一括して行い、どの学校においても同じ給食が提供できるようにしていく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		情報教育推進事業				担当	教育課
目的		コンピューターによる授業の充実を図り、児童生徒の学力及び情報処理能力の向上を図る					
事務事業の内容		導入年次に応じて順次パソコン等のハード機器及び教育用ソフトを入れ替えなどで整備し、情報教育の推進を図っている。また、「GIGAスクール構想」による一人1台端末によりICT教育を推進する。					
根拠法令等		学習指導要領					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	61,386	2,178	1,463		
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	システム使用料	千円	2,704	2,178	1,463		
	ネットワーク授業用備品	千円	58,602	0	0		
	メールセキュリティ構築・研修他	千円	80	0	0		
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等 教職員・児童生徒の機器やソフトに対する取り扱い技術の習得向上や新たなICT機器の導入に伴う講習等を実施するとともに、情報モラルの学習指導を推進していく。				
2	効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等 コスト削減を模索しつつ整備を進めている。徐々に一人1台タブレットの活用も進んでおり、効率的に実施されている。				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等 一人1台端末が導入され、教育ソフトを利用した学習や、インターネットを利用した調べ学習などの取り組みを推進、その他教職員を対象とした機器及び操作などの巡回指導や情報セキュリティ研修会を開催、小規模校における集合学習にテレビ会議システムを導入する等、情報教育の積極的な推進を図っている。				
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等 パソコン等の機器や教育用のソフトの入れ替えは定期的に一斉に行っており公平性、情報提供は十分出来ている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	プログラミング教育の充実を図るため、さらに情報教育の環境整備とICT教育の推進に努めていく。 「GIGAスクール構想」により、一人1台のタブレット端末を整備し、有効に活用が始まっている。今後、新しい教育環境の整備とICT教育に対応するため、教職員の更なるスキル向上と支援体制の強化に努めていく。					

点検・評価を行う事務事業（社会教育関係）

＜教育委員会＞

	事務事業名	事務事業の内容
1	社会教育推進事業	社会教育委員会議、女性団体活動助成、成人式（二十歳のつどい）の開催、文化賞等の授与、交流センター等各施設の管理運営
2	青少年育成事業	青少年育成町民会議活動の助成、ジュニアリーダークラブ活動への助成、チャレンジひだかがわ事業
3	公民館運営事業	公民館が主催して実施する事業、文化協会の育成指導と活動費の助成、支館活動、地区活動への助成
4	人権教育推進事業	人権啓発活動委託事業、保護者学級開設事業
5	文化財保護事業	県指定無形文化財保存会に対する助成、国・県及び町指定文化財等の保存、保護、活用
6	スポーツ推進事業	スポーツ推進委員活動、日高川体育協会、スポーツ少年団等の活動助成、スポーツ賞等の授与、各社会体育施設の管理

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		社会教育推進事業			担当	教育課
目的		学習機会や交流の場を充実し生涯にわたって主体的に学び心豊かな生活につなげる				
事務事業の内容		社会教育委員会議の開催、文化賞の授与、「日高川町学びの日・月間」の啓発、女性団体活動育成、成人式(二十歳のつどい)の開催、子ども未来塾の開設				
根拠法令等		社会教育法				
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項
	文化表彰関連経費	千円	71	51	82	<ul style="list-style-type: none"> ・文化表彰を行い、一層の文化振興を図る ・「学びの日・学び月間」をPRし、期間中さまざまな学びの機会をつくる ・女性アクティブ教室は川辺3箇所、美山1箇所で開催 ・二十歳のつどいでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者立入禁止、立食を中止した。商品券とチョコレート、記念アルバム(集合写真あり)を配布。 ・子ども未来塾を7小学校にて学期中週2回開催
	学びの日月間啓発経費	千円	60	60	52	
	女性アクティブ教室助成金	千円	120	160	160	
	二十歳のつどい開催経費	千円	462	716	715	
	子ども未来塾関連経費	千円	1,758	1,838	1,897	
	施設管理事業費	千円	21,196	24,700	44,840	
区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
実績・成果	施設利用者数	人	17,411	24,054	35,761	農改センター・交流センター・山開センターの利用者数
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
生涯学習の推進のため、学習への関心や学習意欲を高めるための啓発活動や学習機会の場を充実するとともに、より良い学習環境の整備を行っている。						
2	効率性	3	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
各事業を実施するにあたり、事務の効率化やコスト削減について見直しに努めている。						
3	有効性	3	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
社会教育推進の目的実現に寄与している事業であるか、社会的効果も考慮しながら検討している。						
4	公平性 透明性	4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
社会教育事業については、町広報紙や新聞等で広く住民へ周知し、特に学び月間では啓発活動や事業実施により町民全体の学びへの意識向上に努めている。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	課題、今後の対応等	町民の生涯学習へのニーズは今後更に増加していくと考えられることから、ニーズに即した事業の実施に努めていく。 町内全小・中学校でコミュニティ・スクール(学校・保護者・地域が協働で学校運営していく)を充実するよう、支援していく。				

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		青少年育成事業				担当	教育課
目的		学校・家庭・地域と連携した青少年健全育成活動の充実					
事務事業の内容		青少年育成町民会議への助成、ジュニアリーダーの育成、補導委員会への助成、チャレンジひだかがわ事業(子どもの体験活動)への助成					
根拠法令等		社会教育法					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	事業費	千円	3,693	4,406	4,518		
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	町民会議員数	人	41	41	41	・町民会議:41人 (教育委員会1名、青少年県民運動推進委員3名、社会教育委員会1名、補導委員3名、民生児童委員協議会4名、小中学校14名、小中学校PTA14名、子ども会連絡会1名) ・ジュニアリーダー:9人 (川辺地区:9名) ・補導委員:28名 (川辺地区12名、中津地区8名、美山地区8名) ・チャレンジひだかがわ事業では「ぶちサバイバルキャンプ」、「わが町探訪」を実施。「イルカとYOU・遊」「雪国体験」は中止。	
	ジュニアリーダークラブ会員数	人	19	22	9		
	補導委員	人	28	28	28		
	補導センター分担金	千円	3,062	3,080	3,167		
チャレンジひだかがわ事業参加人数	人	22	51	17			
	助成金	千円	15	140	100		
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。				
		評価に対する説明等					
		児童生徒の安全確保に地域ぐるみで取り組むとともに、日頃経験できない体験活動の実施等、青少年健全育成に寄与している。					
2	効率性	3	・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。				
		評価に対する説明等					
		事業が効率的に実施しているか、随時見直しに努めていく必要がある。					
3	有効性	4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。				
		評価に対する説明等					
		地域ぐるみの児童生徒の安全確保や体験活動事業等により、青少年健全育成に有効である。					
4	公平性 透明性	3	・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。				
		評価に対する説明等					
		町民会議の総会において、児童生徒の安全確保や体験活動等の事業内容を審議してもらっている。					
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input type="checkbox"/> できている <input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	町民会議の充実と次代を担う青少年健全育成のための啓発及び子どもの体験活動事業を、学校・家庭・地域と連携しながら実施充実に努めていく。 新型コロナウイルス感染症対策でチャレンジひだかがわ事業「イルカとYOU・遊」「雪国体験」が中止となったが、昨年中止となった「ぶちサバイバルキャンプ」と「わが町探訪」については、感染予防対策をとり内容を変更し実施できた。今後は、コロナ渦前の事業内容で実施できるよう努めていく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		公民館運営事業				担当	教育課
目的		町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興に寄与する					
事務事業の内容		公民館が主催して実施する事業、文化協会への助成、支館活動・地区活動への助成及び各種イベント実行委員会への助成					
根拠法令等		社会教育法					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	49,702	53,783	62,880	人件費、図書購入費などを支出	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	文化協会助成金	千円	1,113	1,431	1,418	加入団体:川辺分会18、中津分会11、美山分会6	
	文化協会加入団体数	団体	39	38	35	文化祭:川辺文化祭、中津文化芸能祭、美山文化展(文化祭は中止で展示のみ)	
	文化祭の開催	回	3	0	0		
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等 3公民館でそれぞれの地域のニーズを反映した取組がなされている。住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進のために必要と考える。				
2	効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等 文化協会や公民館支館及び地区館に助成を行い、文化の向上のみならず、地域コミュニティの活性化など、効率的に事業が展開されている。				
3	有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等 各種事業を進めるにあたり、地域資源の活用や見直し、読書活動の推進等、それぞれの事業の目的に応じ、実施している。				
4	公平性 透明性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等 公民館教室において、参加者から応分負担を徴収しており、公平である。「公民館だより」やホームページ・ブログ・フェイスブックで情報の発信に努めている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染者が減少し、公民館運営事業も少しずつであるがコロナ禍前のように実施できるようになった。たくさんの対策を講じながら、工夫して実施していく必要がある。 「日高川町子ども読書活動推進計画」に基づき、読書の好きな子どもたちの育成に、学校とも連携しながら進めて行く。 公民館活動の活性化と公民館図書室の充実を積極的に進めていく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		人権教育推進事業				担当	教育課
目的		人権尊重の理解を深める					
事務事業の内容		町人権推進会事業、人権教育講演会の開催、啓発物品の配布、小学生による人権作文集作成、保護者学級開設事業など各種人権啓発事業					
根拠法令等		社会教育法					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	決算(見込)額	千円	648	1,046	1,157	新型コロナウイルス感染症対策により中止していた人権講演会を3年ぶりに開催した。	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	保護者学級	回数	15	21	26	各小学校においてPTA対象に保護者学級事業を実施	
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。 				
			評価に対する説明等 人権教育は、町民全体に人権尊重の理解を深めるため、町が率先して行う必要がある。				
2	効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 				
			評価に対する説明等 人権推進会組織の効率性、コスト削減については、組織体制の見直しも含め今後の検討課題である。				
3	有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 				
			評価に対する説明等 継続した地道な啓発活動や、学習活動、人権教育講演会等により、人権意識の向上に寄与している。				
4	公平性 透明性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 				
			評価に対する説明等 各事業において、広く町民に広報・啓発しており、公平・透明性は十分確保できている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	人権啓発事業については、継続性が求められるため、町人権推進会を中心に引き続き啓発活動に努めていく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調書

事務事業名		文化財保護事業				担当	教育課
目的		各種文化財の保存・保護・活用に努める					
事務事業の内容		国・県・町指定の各種文化財の保護事業、国・県補助事業対応、文化財関係委員事務、埋蔵文化財包蔵地内工事対応、伝習館等資料館管理					
根拠法令等		社会教育法、文化財保護法					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	事業費	千円	1,614	1,396	971	・埋蔵文化財包蔵地内での掘削工事にもなう確認調査用 重機借上料 ・中津郷土文化伝習館、西鶴記念交流館、美山歴史民俗資料館の光熱費や保守点検料等	
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	国・県指定文化財数	箇所	25	25	25		
	町指定文化財数	箇所	13	13	13		
	文化財保存会補助	団体・千円	—	—	—		
年間入館者数	人	207	85	161			
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	3	・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。				
			評価に対する説明等 文化財指定・未指定に限らず地域文化財の保存・保護・活用施策が求められており、文化財保護事業の実施は必要である。				
2	効率性	3	・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。				
			評価に対する説明等 国・県補助事業の事務となっており効率的に実施されている。				
3	有効性	3	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。				
			評価に対する説明等 補助事業等による修繕や埋蔵文化財包蔵地内の確認調査等、文化財の保護を行っており有効である。				
4	公平性 透明性	3	・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。				
			評価に対する説明等 埋蔵文化財包蔵地内における掘削工事に必要な確認調査について、手続き等のめがなないように周知に努めている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	文化財の保護・保存に努める。町内の文化遺産を町民が学ぶ機会を持つとともに、歴史資料館の活用方法を検討していく。					

令和 5 年度

(令和4年度事務事業) 評価調査

事務事業名		スポーツ推進事業				担当	教育課
目的		町民の健康と体力の増進及び生涯を通じてスポーツの関心と動機づけを図ると共にスポーツ環境を整える。					
事務事業の内容		スポーツ推進委員活動、体育協会、スポーツ少年団、ジュニア駅伝部への助成及びスポーツ大会出場の助成、スポーツ賞、スポーツ奨励賞、生涯スポーツ奨励賞の授与、各種のスポーツやレクリエーション活動が円滑に出来るよう施設の適正な管理を行う。 ・スポーツ広場 11箇所 58,716人 2,713件 ・プール 2箇所 0人 ・ゲートボール場 2箇所 ・体育館 16箇所 20,728人 1,292件 ・南山スポーツ公園 43,987人 704件					
根拠法令等		社会教育法					
事業コスト	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	体育協会助成金	千円	920	960	1,870	・南山スポーツ公園整備工事	
	スポーツ少年団助成金	千円	600	600	560		
	ジュニア駅伝助成金	千円	400	240	400		
	スポーツ大会出場助成金	千円	10	390	360		
	スポーツ施設管理運営費	千円	126,760	85,519	90,631		
実績・成果	区分	単位	2年度	3年度	4年度	特記事項	
	スポーツ推進委員	人	12	12	12	・第22回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝大会 成績:11位/28チーム(OP除く) ・スポーツ少年団:少年野球4チーム、ジュニアバレー2チーム、川辺剣道1チーム、空手1チーム ・スポーツ賞:個人4名・スポーツ奨励賞:個人15名、1団体・生涯スポーツ奨励賞:個人1名	
	体育協会構成団体数	団体	11	11	11		
	スポーツ少年団構成団体数	団体	9	9	8		
	スポーツ賞等授与	団体	1	4	1		
人		6	13	20			
評価項目		評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	・ 町民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。				
			・ 本事業は教育委員会が実施すべきか。				
			評価に対する説明等				
		町民の体位向上や青少年育成にも寄与しており必要性は高い。					
2	効率性	3	・ 事務は効率的に実施されているか。				
			・ コスト削減の工夫がなされているか。				
			評価に対する説明等				
		体育協会やスポーツ少年団等の助成団体は自主的に活動している。スポーツ施設については、広範囲で数も多く管理コストがかかるため工夫が必要である。					
3	有効性	4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。				
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。				
			評価に対する説明等				
		スポーツ推進委員、体育協会等各団体の活動によりスポーツ人口の増加や健康増進に有効である。					
4	公平性 透明性	3	・ 事業の効果は公平に配分されているか。				
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。				
			評価に対する説明等				
		スポーツ団体は随時会員の募集や大会・教室への参加を広報しており、公平性・透明性は確保しているが、より参加しやすい方法の検討は必要である。					
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し					
	課題、今後の対応等	「南山スポーツクラブ」との連携を図る等、総合的にスポーツの推進に努めていく。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとり、工夫しながらスポーツ大会等ができるだけ開催した。今後はコロナ禍前の事業内容で実施できるよう努めていく。					